

議会だより **せら**



■今号の主な記事

- **生活環境保全条例改正** 議員提案…2～3
- 委員会は今 ……………4～5
- 我が町に活かそう 防府市・内子町視察報告…6～7
- 陳情と請願 土石流防止など ……………8
- ズバリ **町政の課題** 14議員が質問…9～15
- 元気な人紹介 農業後継者の育成に力を ……………16

**ゴールだ
スパート**

No.24 平成23年1月14日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

H22年第4回定例会 12月9日から21日まで開催

今定例会に「世羅町生活環境保全等に関する条例の一部を改正する条例」(以下「生活環境保全条例」という。)を、議員提案(以下「発議」という。)した。発議は議員に与えられた権限だが、今回の生活環境保全条例のような本格的な条例改正案は合併後初めてとなる。

また、一般会計を含む全ての会計で、給与などの減額を中心とした補正予算案が提出されたが「不適切な記載がある」と議会からの指摘。議案書の一部訂正と修正を迫った。

製造・販売業者 堆肥とその原料の野積み禁止

野積み堆肥による臭

調査してきた。

気や周辺の水質汚染を心配する小世良地区の陳情を契機に、産業建設常任委員会を中心に

その成果として、生活環境保全条例の改正を議員発議し、全会一致で可決した。周知期間を経て、H23年4月1日から施行する。



池田工場現地調査

条例は肥料取締法で定める肥料と特殊肥料、その原料(以下「堆肥等」という。)を、製造または、販売する事業者に適

する。肥料等を屋外で保管(以下「野積み」という。)することは原則禁止。やむを得ず野積みする場合は、一定範囲の同意を必要とする。

補正予算書を一部修正

11月29日の第5回臨時会で、給与に関する条例を改正した。これに基づいて人件費を減額する補正予算(一般会計ほか、7会計)が提出された。町長は減額の根拠を人事院勧告とした。一方、議会

は、「世羅町の人件費削減の根拠は給与条例」と主張。休憩をはさんで調整した結果、すでに、提案されている議案については一部修正することとした。人件費のほかでは町道用地取得費、統合小学校仮設校舎などを減額。世羅中央病院増築負担金、傷みの激しい町道舗装改修費の増額を可決し

するなど、厳しい条件を付した。違反者には、罰金を科するほか、町長は改善勧告ができる。

た。また、12・13才頃に接種すると効果の高い子宮頸がんワクチンの接種促進費を可決した。

工事契約・条例制度

5千万円を超える契約は議会の議決が必要とされている。

世羅小学校の増築工事は12月15日に入札。1億8千8百万円で(株)セラケンが落札した。工期はH23年9月21日となっている。2学期から使用できること、児童の安全を最優先することなどを確認し議決した。

すでに、契約されている町道安田徳市線道



せらひがし小学校視察

路改良工事は土質の状況と残土処分との関係で1千万円増額する。町内全域に網羅されたケーブルテレビに加え、接続すれば、テレビの受信だけでなく、インターネットの高速通信も地域格差なく利用できる。

反面で、維持・保守に相当な経費が必要。これに対応するため基金を設置する。

改例全保環境生活

第4回臨時会

11月5日

産業建設常任委員会

福田 義人
永田 英則
中村 幸雄

◎ 永田 英則
◎ 矢山 武

総務文教常任委員会

◎ 中村 幸雄
◎ 岡田 武士

徳光 義昭
能登 哲夫
仙光 保喜
小川 信晃
福田 豪

議会改革調査特別委員会

11月10日で常任委員会と議会運営委員会の委員任期が満了する。このため臨時会を開会、委員を選任した。また、議会が町民の負託に応え、責任をどう果たすか、時代に即した議会の使命などを調査研究するため、議会改革調査特別委員会の設置を決めた。

西田美喜男
豊田 勲
福田 義人
仲行 洋
松本 秀治
奥田 正和

◎ 松本 秀治
◎ 豊田 勲
(委員は議長を除く全員)

さらに、7月豪雨災害の大規模復旧工事2件、年度内に工事が完了できないものを次年度に繰り越すことなど決定した。

改選した新委員は次のとおり。

(◎は委員長○は副委員長)

議会運営委員会

◎ 徳光 義昭
◎ 仲行 洋
○ 矢山 武

第5回臨時会

11月29日

世羅町職員の給与は国家公務員に準じている。その国家公務員が給与減額するため、世羅町も減額する。しかし、「なぜ、国に準ずるのか」などの疑問は残ったままとなった。

一方で、町長・副町

長、議員の給与・報酬は、報酬審議会に諮った後に提案するという条例の定めがある。この、解釈は分かれたまま可決した。



年頭のごあいさつ

議長 奥田 正和

新年あけましておめでとうございます。日本中が、混沌のまま迎えた平成23年は、政治と経済を早く立て直してと願うが、我が町はそのような悠長ではならない。

我々議会人は、前向きに進み自己研鑽し、町政をリードする役割を与えられている。昨年末に発足した、議会改革調査特別委員会は、これまで以上に、皆さんの声を聞き、町の発展に資する政策提言など議会活動が活発になることを目指している。

今年、大きく転機を迎える小学校再編統合は、新たな環境の中で、児童がたくましく元気よく育ってほしいと願う。愛着のある校舎を閉じる寂しさもあるが、新たな活用により地域が賑わってほしい。

尾道自動車道、世羅ICを活かした取り組みは、待ったなし。観光関係者と連携した新たな町づくり、地場産業の活性化策は多様にある。今、知恵と汗をしっかりと出したい。

地域は、自治センターごとにビジョンの取り組みが進んでいる。地域の特性を活かした様々な動きが始まっていく。人が輝く町ならではの動き。

うさぎ年の一年。途中で昼寝せず、前へ跳ね、耳を立て声を聞き頑張ってください。

ご指導、ご協力よろしく願います。

報告します 委員会は今

総務文教常任委員会

●現地調査

●小学校の施設整備は

世羅小学校・せらひがし小学校の施設整備は、ほぼ完了し、内装工事に着手していた。

甲山小学校は一部2階のため本体工事完成は2月末になる。どの施設整備も工期は2月末なので問題はない。

●事務調査

●小学校統合準備は

通学距離3 km以上はバス通学の対象となる。12月15日に9業者による入札が行なわれた。コースは、世羅が7路線・せらひがしが5路線となる。国県補助が5年間はあがるが、その後も継続補助を要望している。

●閉校後の施設利用は

対象の6校すべてから、H22年8月建物の利活用要望書が提出された。世羅町公有財産利活用検討委員会では、課題を整理し利活用計画を作成される。

●地域防災計画は

世羅町地域防災計画



甲山小学校屋内運動場工事を視察

はH19年に策定され、災害対策の基本方針として運用している。7月の豪雨災害対応の検証を行い、個別マニュアルの必要性を認識し「世羅町職員初動マニュアル」を策定することとした。

H22年度は風水害編、H23年度は地震編を策定し、H24年度にこれらの個別マニュアルと関連づけて地域防災計画の改正を行なう予定である。

●新年度の予算は

H23年度当初予算編成方針を調査した。最小の経費で最大の効果が得られるよう、子育て・住民自治・健康・環境・農業・教育に特化させ健全な財政基盤を確立し事業計画の見直しを図る。

●デマンド交通は

地区別利用者は大見・西大田・津名・東地区の順に多い。降車場所は世羅中央病院が圧倒的に多く、医療機関が上位を占めていた。課題の、町外への交通手段は地域公共交通会議への協議が必要である。

議会改革調査特別委員会

H12年の地方分権一括法で、国の権限や財源を地方に移し、住民に身近な事は、市町や県が行ない、国と地方の公共団体が分担するようになった。自治体の権限は拡大し、住民の負託に応える責務を負っている、議会の役割もより重要となった。

議会は、自治体の重要事項を審議、議決することはもとより、政

策立案・行政監視・会議や情報の公開など、住民参加と交流を重んじる役割を、最大限に発揮しなければならぬ。議員自らが創意工夫を積み重ね町民にわかりやすい「真に開かれた議会」を目指す。議会の役割や、議会運営の基本原則を再構築し、世羅町議会にとって本当に必要な事項を調査をする。

産業建設常任委員会



賀茂瀬戸山土石流防止要望現地調査

●現地調査

① 賀茂瀬戸内山地内
世話人から出された
「土石流防止対策事業

の実施について」要望
箇所を視察。

この地区は大雨の
際、土石流が発生し、

用水路・農地・倉庫な
どへ流入し、処分に大
変苦労している。防止
対策の方法など調査し
た。

② 大阪を本社とする
ヤンマー㈱が、100
%出資する「ヤンマー
アグリイノベーション
株式会社」を、9月1
日に設立し、農業参入
した。「持続可能な農
業生産の実践」をテー
マに、国営大谷団地の
3農家から5圃場4・
6haを利用権設定、よ
り低コストの野菜生産
を行う。農業外企業や
農業者を受け入れ大規
模野菜生産の研修所を
開設した。県の雇用基
金事業が導入されて
る。

●事務調査

① 世羅西地域の可燃
ゴミの収集業務は直営
で運営してきたが、H
23年度から全面委託と
する説明を受けた。

一般廃棄物処理業等

の合理化に関する特別
措置法による処置。H
21年から公共下水道が
供用開始されたことが
主な要因。

② 尾道松江線の一部
供用開始後の状況は平
日2千700～3千8
00台。休日6千30
0～7千800台の利
用。交通事故の発生は
12月9日現在2件の物
損事故。消防関係は、
原則町境を基準として
三原市・尾道市消防の
管轄での対応。警察関
係は「高速隊」の管轄
でICへの進入路内での
事故は、世羅署も出動
する。

③ 米の個別所得補償
制度は、対象農家2千
131戸に対して1千
616戸が申請。年内
支払い希望者は1千1
29戸で定額部分1万
5千円部分で2億3千
200万円程度であ
る。

公共下水道事業調査特別委員会

●現地調査

役場南側川口地区の
下水道管新設工事を現
場視察。
開削工法で順調に進
んでいる。

●事務調査

認可区域は高齢化が
進み、今後地元の意向
を勘案しながら幹線を
埋設する必要がある、
委員会としても調査し
ていく。



R184 下水道工事現地調査

閉会中の「行政視察報告」我が町に活かそう

総務文教常任委員会

◎防府市の豪雨災害の取り組みを視察

防府市は、山口県の南部のほぼ中央にある人口約12万人の市で、H21年7月に集中豪



H21年7月 大規模災害 R262被災地域

雨の災害を受けた。その際、初動体制・避難勧告・情報収集・情報伝達の問題点が指摘された。教訓を基に災害対策本部の仕組みを変更した。そして、H22年の7月13日の豪雨には新しいマニュアルで対応、早期に災害対策本部を設置。40分後には避難勧告を発令するなど素早い対応がされた。

その後、市民の安全・安心を守るまちづくりを目的に「防府市豪雨災害検証委員会」を設置し、H22年8月には報告書がまとめられた。また、災害対策本部設置時の対応を円滑にするため、警戒体



土石流で塞がれたR262

◎安芸高田市の市域を越えた新たな交通システムを視察

安芸高田市は人口3万2千人の市で、新

制調整会議も設置された。世羅町も、大きな豪雨災害を受けており、今後の対策の参考になった。

公共交通システムを運行。特に、市境を越えた運行をしており世羅

町も、圏外運行の要望もあり今後の参考にする。

産業建設常任委員会

まちづくり事業、観光振興、上水道事業で実績のある愛媛県内子町を視察。

内子町はH17年1月に「内子町」、「五十崎（いかざき）町」、「小田町」の合併により誕生。まちづくりの原点は、昭和50年の町並み保存が始まり、H4年からエコロジータウン内子として、美しい村並みの創生・高次元農業の推進・内子三川の再生・内子の森づくり・さらにと光る街づくりに取り組み。「環境に優しい町をつくろう」と自治会制度を発足し

H19年から、総合計画では「まちづくり戦略は地方の魅力を高め交流人口を増やす」とし、産業の改革に取り組み多様な雇用を創出する。自治力を強化し、安全・安心な地域をつくる。

以上3点をまちづくり戦略としている。



内子町視察研修

上水道事業は合併時に議論されてきたが、経営状況、料金体系、地理的条件などの違いから事業の統合や料金の一元化まで進まず現在に至っている。

水源の枯渇、原水水質の悪化、老朽管や老朽施設の更新、危機管理や施設監視体制の確

立など今後多額の費用が必要となり更なる経営の効率化による経費削減を進めても、事業経営が立ち行かなくなる。加えて高齢化、担い手不足などの問題もあり上水道と簡易水道事業の統合は避けられない状況にある。

第4回・第5回臨時会・第4回定例会 提出議案審査結果 全員一致で採択可決したもの

議案番号	提出議案	採否
承認 7 号	専決処分の承認を求めること	承認
議案第91号	一般会計補正予算(第8号)	可決
議案第93号	特別職の職員の給与及び旅費に関する条例改正	可決
議案第94号	教育長の給与その他の勤務条件に関する条例改正	可決
議案第96号	一般会計補正予算(第9号)	可決
議案第97号	情報通信放送施設運営基金条例制定	可決
議案第98号	一般会計補正予算(第10号)	可決
議案第99号	国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第100号	後期高齢者医療制度会計補正予算(第2号)	可決
議案第101号	介護保険事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第102号	農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第103号	上水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第104号	簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第105号	公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第106号	工事請負契約の締結(世羅小学校)	可決
議案第108号	一般会計補正予算(第11号)	可決
発議第8号	生活環境保全等に関する条例改正	可決



○ 賛成 ● 反対 空白 欠・退席

議案番号	提出議案	西田	岡田	矢山	安佐	徳光	豊田	福田義	能登	仲行	仙光	小川	松本	永田	中村	福田豪	採否
議案第89号	工事請負契約の締結	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	工事請負契約の締結	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	職員の給与に関する条例改正		○	●		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正		●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第107号	工事請負契約の変更(安田徳市)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

皆さんの
陳情と請願
このように決めました

■採択したもの

◎特措法に基づく基金の早期創設と口蹄疫被害の全面補償を求める請願
三次市粟屋町3222番地
農民運動広島県連合会委員長 杉本 隆之

◎免税軽油制度の継続を求める請願
三次市粟屋町3222番地
農民運動広島県連合会委員長 杉本 隆之

◎EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願
三次市粟屋町3222番地
農民運動広島県連合会 委員長 杉本 隆之

◎広島県教育会世羅支部の要望書
広島県教育会世羅支部 会長 宮丸 皓行

◎土石流防止対策工事の実施を求める要望
世羅町賀茂瀬戸内山 地内 世話人 仲行達男ほか4名

◎後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書提出を求める陳情
全日本年金者組合広島県本部 執行委員長 谷崎 典彦

◎高齢者の生活実態に見合う年金引き上げの意見書提出を求める陳情
全日本年金者組合広島県本部 執行委員長 谷崎 典彦

◎国庫負担を増やし国保制度の改善と後期高齢者医療制度の即時廃止を求める意見書提出を求める陳情
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

◎大幅増員と夜勤改善で「安全・安心の医療・介護」を求める意見書の決議を求める陳情
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

◎保育制度改革に関する意見書の決議を求める陳情
広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

■不採択となったもの

◎最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情
全日本年金者組合広島県本部 執行委員長 谷崎 典彦

提出議案審査結果

議案番号	提出議案	西田	岡田	矢山	安佐	徳光	豊田	福田義	能登	仲行	仙光	小川	松本	永田	中村	福田豪	採否
陳情第20号	後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	採択
陳情第21号	高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第22号	最低保障年金制度の制定を求める陳情	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第23号	国庫負担を増やし国保制度の改善と後期高齢者医療制度の即時廃止を求める陳情	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	採択
発議第12号	後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書提出	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	可決
発議第14号	国庫負担を増やし、国保制度の改善と後期高齢者医療制度の即時廃止を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	可決
発議第15号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第19号	北朝鮮による韓国延坪島への砲撃を厳しく非難する決議	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

全員一致で採択可決したもの

議案番号	提出議案	採否	議案番号	提出議案	採否
請願第15号	特措法に基づく基金の早期創設と口蹄疫被害の全面補償を求める請願	採択	発議第9号	特措法に基づく基金の早期創設と口蹄疫被害の全面補償を求める意見書	可決
請願第16号	免税軽油制度の継続を求める請願	採択	発議第10号	免税軽油制度の継続を求める意見書	可決
請願第17号	EPA・FTA推進路線の見直しを求める請願	採択	発議第11号	EPA・FTA推進路線の見直しを求める意見	可決
陳情第18号	広島県教育会世羅支部の要望	採択	発議第13号	高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書	可決
陳情第19号	土石流防止対策工事の要望	採択	発議第16号	保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情	可決
陳情第24号	「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書」の決議	採択	発議第17号	TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加に反対する意見書	可決
陳情第25号	「保育制度改革に関する意見書」の決議	採択	発議第18号	尖閣諸島海域における中国漁船領海侵犯に関する意見書	可決



町政の課題



焼却場からの煙

●小川 農業の再生を図っている県知事までも、「環太平洋連携協定」に参加することに賛同。愕然とした。関税をなくし、貿易自由化となると米価の



小川信晃議員

Q 激変する農政・町内の農家は救えるか

A 国県の支援策を積極的に活用

下落はもとより、農家の崩壊は進む。今後、どのような対策で救おうとするのか。

■町長 全国町村長大会で、反対を表明。安定した農業経営確保のため、国・県の支援策を積極的に活用、町独自の策も、検討していく。

Q 養鶏施設は、勧告通り改善したが
A 測定結果は改善方向

●小川 企業が示した改善計画の効果は。その後の臭気指数値は。燃焼温度の変化で起こる臭気の拡散対策は。地区外からの搬入阻止策は。

■町長 鶏糞を直接シートで覆い、焼却灰

を混ぜて中和させる方法を計画。効果は過去10回の測定結果から改善されている。県立広島大学の調査で、煙突の煙臭で悪臭気はないとの結果がでている。地区外からの運搬は規制できない。

Q ガン検診率アップ策は
A 受診率向上に努力する

●小川 個人の健康だから、自己管理は自身自身の使命だが、一人でも多くの人を早期発見、早期治療で救う策を願う。

■町長 ガンは死亡率原因の第1位を本町も占めており、受診率は11%から15%で、国が提唱する50%に及んでいない。電話などによる勧奨、体験談の掲載などで、啓発に努力している。今後も様々な媒体を活用し受診率の向上に努めたい。

Q 尾道松江線開通に向けての取り組みは

A 本町の魅力発信・観光PR



仲行 洋議員

●仲行 沿線住民の地域活性化、観光振興への期待のもと、尾道自動車道が世羅インターまで開通した。町長は



開通式テープカット

これまで自動車道の開通を視野に入れた交通ネットワークと地域経済での活用を創造すると言われていたが、どのような取り組みをしたのか。

■町長 早期開通へ向けて、国・県への要望活動、関連事業の積極的な実施に取り組んで

の観点にたった、世羅町にしかない施策の確立、展開を図るとともに早期の全線開通に向けた取り組みを行う。

九州で展開していく。今後は、開通を生かした地域活性化や観光振興、そして、定住などの

米の需給と価格の安定対策を

特別栽培米でブランド化



永田英則議員

努力する。
T P P については、全国町村長大会で、特別決議を採択し反対表明をした。

●永田 食料農業農村基本計画の戸別所得補償制度は、経営安定に重要な政策で期待は大きいですが、需給・価格の安定対策、担い手育成・対策には課題がある。

また、米価下落が続き農業振興と経営安定を図れるか。
次に、T P P 問題の考えは。

■町長 戸別所得補償制度に加え米備蓄運営、輸出拡大や、消費拡大などの需給と価格安定対策を、急務な施策として関係機関と連携し、国に求める。また、特別栽培米を一層拡大し、ブランド化に

なつかしい稲はで



地域づくりの自治センター改革の現状と課題は

町の施策と対応

●永田 ①指定管理を導入した地区の要望と現状の問題点は

②導入していない地区の現状、課題、問題は、
■町長 ①各自治セン

ターの地域づくりビジョンに基づいて活動されている。要望課題は、地域でまとめ、町の施策として対応したい。
②2地区は、今年度中の制度導入をお願いしている。

農地制度で世羅町農業はどうなるのか生産構造を基

●永田 ①農地制度改正はいつしたのか。
②改正をふまえて農業委員会活動の変った点は。③町の農業課題、遊休農地の実態と発生防止策は。

■町長 ①H21年6月②年一回農地利用状況調査が義務付け。③H17年170ha、過去20年間で3・6倍に拡大した。課題や実態をふまえ生産構造の確立を基本に、農業振興に取り組んでいる。

なつかしい稲はで

T P P の情報提供を

独自の支援策を検討



福田 豪議員

●福田豪 T P P は世

活動補助金の方向

予算の範囲で

●福田豪 補助金は、ハードからソフトへと移行している。とりわけ民主団体や自治団体への活動補助金は、以前からソフト事業に重点が置かれている。その活動の中から多くの人材が生まれている。一方で、活動が定着するまでの間、目的を持った行政の指導が不可欠と考える。

成熟した団体は、協

羅町と町民にどう影響するのか。また町長はどう対応するのか。こうした大きな政治課題は、町民に情報提供する責務があるのではないか。

■町長 例外なき関税撤廃を原則とすれば、現状の農業は生き残れない。国・県の支援策の活用、J A など関係機関との連携を強化し、独自の支援策の検討を進める。また町広報で、その影響などを情報提供する。



駅伝の里を支える
(体協世羅西支部主催 服部杯ロードレース)

働の理念の基に、施策展開の一翼を担っても行うことも可能と思われる。
H23年度予算編成にあたってこれらをどう考えるか。
■町長 H23年度予算で考える。



佐賀県武雄市の「いのしし課」



福田義人議員

Q イノシシの被害を最小限に 被害防止と捕獲の対策を進める

●福田義 イノシシ被害を最小限に留める対策が出来るのは行政が主導する以外にない。武雄市では「いのしし課」を設置、いのししパトロール隊を組織して、年間2千頭以上を捕獲し作物などの被害の減少に効果を挙げている。

留める政策は。

■町長 鳥獣被害を最小限に留めるには、防止対策と捕獲の両方から対策を進める必要がある。昨年度設置した鳥獣被害対策実施隊による捕獲強化を計画に沿って進める。

Q 今までの質問の対応は A 項目に従い回答

●福田義 ①議員も職員も町発展の為に、自己研鑽と研修が必要

だ。②老朽家屋対策は検討する。③新たな水道の敷設のため知恵を出すよう指示した。その後の経過は。

■町長 ①技術・知識の習得・自己研鑽はその機会ごとに当たっている。

②補助制度を活用し、危険家屋の除去に対応したいが、私有財産のため、相続人の代表と交渉を進める。③以前から要望のあった宇津戸・山中福田地区の計画検討をしていく。

Q 道路改良の A 計画に沿って進める

●福田義 空港大橋、尾道松江道完成後の道路整備の予定は。

■町長 国県道については、毎年町村会や期成同盟会を通じて要望している。津口国兼線は、H26年度完成予定。



収穫された世羅米

Q 世羅の農業をどう守るか A 担い手の集積を

●矢山 減反拡大の中で、米価が大幅に下がっている。昨年度改悪した農地法を変えようとし、自民党と同じ方向を勧めようとしているが。

■町長 県の生産目標3・7%減で今月中に町へ配分。販売力を高め、担い手への農地集積を進め、競争力をつ

Q 財政健全化と A 効率化を図り改革の成果を

●矢山 人口減と所得低下が進む中で、税収の減と、どうサービスを守っていくかが重要である。地方交付税に

■町長 町税は3〜4%の減で見込んでい

る、効率化を図り、実効性のある施策が必要。地方交付税に算入される割合は66%で、算入されない借金は58億円である。

Q 小中学校の統廃 A 合同地域活動の活性化は より活動に

●矢山 統合に向けた施設整備と通学対策、そして、通学路の安全性化と同好会の活動はどうか。指導強化をすべきではないか。

■教育長 整備状況は11月末でせらひがし小63%世羅小64%。通学対策は2校12路線でせらにし小と合わせて7200万円。自治センターは情報交換し、支援する。

■町長 地域づくりビジョンにより活動をしている。

Q Web図書館の導入推進を

A 導入には時期尚早



西田美喜男議員

●西田 東京都千代田区の区立図書館はいち早く電子書籍の存在に着目し、H19年11月、インターネットを使っ

て電子書籍を貸し出す「Web図書館」をスタートさせた。政治経済・文学・語学など様々なジャンルの電子図書を提供しており、利用者はインターネットを介して24時間365日いつでも貸し出し・返却ができるため、わざわざ図書

館に向く必要がない。利用登録と利用者ログインのパスワード設定さえ行えば、千代田区の在住者、在勤者、在学者なら誰でも利用可能。

電子図書の導入により、図書の盗難、破損未返却などの損害額をゼロに抑えられる面を考慮すれば、充分、導入する価値はあると考える。

町立図書館の利用改善・推進を図る観点からも「Web図書館」の導入を検討しては。教育長の考えを伺う。

■教育長 現在の書籍とほぼ同額かそれ以上の購入経費がかかる。また、購入できる出版社、書籍内容も限定される。

将来的には、この「Web図書館」はメリットが見込まれるが、世羅町の現状から考えると導入するには時期尚早と考える。



利用拡大が見込まれる電子書籍



フルーツロード豪雨災害現場

Q 7月豪雨の教訓は生かせるか

A 迅速な初動対応対策を構築



仙光保喜議員

●仙光 世羅町は、比較的災害の少ない地域で、私たちは今まで安心して暮らしてきた。

地球温暖化などでの異常気象が原因か、今まで受けたことの無い甚大な被害を世羅町は受けた。

これまで河川改修や

に認識し、今後に生かしていくのか。

■町長 町全体で災害が発生した場合、町や防災機関だけでは十分な対応ができない。このため町内全域に自主防災組織の設立に努めている。

8月には「防災ハザードマップ」を全戸配布しており有効に活用しながら地域での防災活動を行ってほしい。

教訓としては、災害ごとの対応マニュアルが必要であり、組織の風水害に係る「職員初動マニュアル」を策定し、発生時にはこれに基づき、町組織の横断的な連携より、迅速な初動対応が行える体制を構築していく。

災害対応は地域を含め、外部組織との連携も不可欠との認識で、初動時から情報の共有を行いながら、迅速で的確な対応ができるよう努める。

この教訓をどのよう



側溝改修が望まれる本通り



岡田武士議員

●岡田 ①町として活用の方法は考えているか。②花観光に利用した。

■町長 ①人口の流入増進と流出抑制、そして観光振興、企業立地の促進策を検討する。定住対策も、ストロー現象による地元経済の

Q 尾道自動車道は開通したが A 過疎地域自立促進計画に沿って

地盤沈下や、人口の流出の増加を招くことのない施策が必要だ。②花観光は、若者の交流の場として活用したい。

Q 平成の大合併 A 差額は11億円 5年間で急減 補正する

●岡田 ①合併して15年後、普通交付税は最大30%も減る。一本算定の影響は。②合併特

例債の利用状況は。

■町長 ①一本算定と、合併の算定替えの差額は約11億円。加算率は20・2%。平成27年度から31年度まで5年間で、急減補正を行いながら減額していく。

②特別債は、まちづくり振興基金、三原市消防北部分署世羅西出張所の整備、国県道改良負担金などに利用。

Q 甲山地区本通 A 予算の範囲 内で対応 の側溝改修は

●岡田 甲山本通りの排水路の側溝蓋が、経年劣化で傷みがひどい。改修をしてほしい。

■町長 上本町大谷線1千519mと本通り線1千121mの2路線で早急に現地調査を行い、工法など検討し、出来るものは予算の範囲内で対応したい。



中村 幸雄議員

●中村 政府は幼保一体化を図るため「こども園」新設の関連法案を来年の通常国会に提出する準備を進めていると聞く。

■町長 政府の「子ども・子育て新システム検討会議」において基本制度案が決定され、子育て支援策に関する補助金を「子ども・子育て包括交付金」に一本化することも盛り込んだ内容であり、実施主体は市町である。自治体独自の事業計画を策定し、基本的に市町

Q いづも園はぐいする A 国の動向により取り組む



将来を担う保育園児「火の用心」と巡回

が幼稚園と保育園の利用料を一本化して子どもが受けられる最低限の幼児教育・保育を保障する内容である。国での議論の動向を注視し、県及び市町との連携を密にし、事業計画の策定に取り組む。

Q 再編整備の A 進捗は ほぼ完結に 近づいた

●中村 保育所再編整備計画の進捗管理と見直しの考えがあるか聞く。

■町長 保育所に対する保護者ニーズは、家庭環境や就労の変化、女性の社会進出などに伴い近年多様化しており子育て不安や孤立感を持つている保護者に配慮した保育サービスが求められている。多様な保育サービスを求めているが、制度改正などに伴い必要に応じて見直しを行う。

Q デマンドタクシー土・日も

A 費用対効果で慎重さ必要



豊田 勲議員

用を求めたい。③土日の要望も聞いているが、費用対効果で慎重さが必要。デマンド以外で町外への運行に補助制度があり、津名で試行している。

●豊田 ①利用状況は。②利用促進策は。

③「土日、町外にも利用したい」の声があるが。

■町長 ①昨年末まで12万7千501人利用。②免許返納者の利用。



新設されている臭気対策施設

Q 臭気改善工事後の効果は

A 豚糞焼却で発酵臭無くなる

●豊田 ①東部養豚第

三牧場は3億円超の改善工事であるが、完成後の効果は。②第四牧場は、今後どうなるか。

③養鶏場の鶏糞置場は臭気がきつい、建物を密閉するよう指導せよ。

■町長 ①豚糞を焼却するので発酵臭はなくなる。建物壁に臭気吸着設備も出来る。②効果見て地元対策委員会と検討する。③鶏糞はシートに覆われている。

Q TPP反対で総決起を

A J Aも壊滅的打撃受ける

●豊田 TPPに参加し関税0%になった場合、世羅町は昨年コメの販売額約23億円で90%の減少になる。農家数2千200が220のみ生き残る計算となり壊滅的打撃である。総決起大会を開催する決意があるのか。

■町長 J A組織そのものも壊滅するような影響があり、TPPの影響について分かり易くお知らせし、必要な対策を講じたい。



世羅インター前進入路交差点

Q 観光事業の取り組みは

A 主体的に地域発展戦略を立てることが重要



松本秀治議員

●松本 11月27日に尾道松江線が一部開通し

た。この開通で活性化することを期待する。全線開通すると単なる通過点となる可能性もある。そのような事にならないため早期の取り組みが必要と思うが。①年間を通しての

集客方法を模索する考えは。②各事業所との連携を問う。

■町長 ①この開通は町としても活性化に繋がるものと大いに期待している。また、地域発展の礎として主体的に戦略を打ち立てることが重要であると考えてる。

新たな観光資源として地域の恵みや催事、町全体がもつ安らぎ落ち着いた感じといった、日常的な町の農業農村そのものを活用した観光振興を関係機関と具体化し、年間を通した観光誘致につとめていきたい。

②各事業所との連携に関しては現在、商工会や観光協会を窓口として進めている。

観光振興の戦略は、市町の枠を超えて広域連携も必要であり、(社)広島県観光連盟はもとより近隣市との連携も現在進めている。

Q 補助金団体への助成は

A 地域福祉活動との一層の連携強化を図る

●安佐 財政が逼迫する中、補助金団体への見直しが必要と考える。特に多額の補助金先のその費用対効果の精査と助成の有り様について明確な回答を。

■町長 社会福祉協議会の助成は住み慣れた町で安心して「共に生



安佐長秀議員

きる福祉の町づくり」



福祉の拠点 世羅町社協

る気のある人々を採用すべきと思うが。

■町長 農業委員会からも要望を聞いているが、配置は限られた人

Q 本町独自の行政改革の必要性は

A 権限移譲に伴う事務の迅速化で住民サービスの向上を

●安佐 権限移譲により農業委員会の職員の増員を、また職員採用は本町の若い有能なや

る気のある人々を採用すべきと思うが。

■町長 農業委員会からも要望を聞いているが、配置は限られた人

数で適材適所を基本に行っている。採用は、定員適正化計画を基本に、有能な人材確保の観点から、町内在住者に限定して採用はしない。

Q 公有財産維持管理の責任は

A 現状を把握し適正な管理に努め住民の利便に寄与する

●安佐 町所有の町道に於いて、維持管理に

適性を怠り、瑕疵により住民に対して、職務専念義務違反行為の対応は。林道管理の管理責任は。

■町長 予期しない管理の瑕疵に基づく賠償責任もあり、まず人命確保の応急対応をとった後、管理責任に関する状況調査を基に法的専門家と協議の上対応する。要望どおりは難かしい。本事案は既に路面補修の対応を行い今後必要な措置を講じる。

Q 知事の「世羅の宝探し」を問う

A 頑張る人材を支援し農業と観光振興を

い若い人、世羅の強み「農業」を応援したいといった。

そこで

①人づくり

②観光を含む産業振興

③地域づくりの3点を問う。

■町長 ①我が町を何とか住みよ

い町にした

いと、頑張

っている多くの人材を、ネットワー

ク化して、更に大きな力にしたい。

②尾道松江線の全線開通を見据え、世羅の強みを伸ばし、諸施策を連動させ積極的に挑戦したい。

③13地域の活動を支援

し協働した取り組みを強化したい。

Q 普通交付税の減と算定替は

A 合併後16年目から511億円減額

●徳光 ①H22年度の

本町の交付税のA、合併算定替は。B、1本算定は。C、算定替加算額は。

②11年目から15年目までの段階減額と16年目以降は。③今後の財政運営は。

■町長 ①A 58億5千5百万円。B 46億7千3百万円。C 11億8千5百万円。

②H27年1億1千万円、H28年に3億3千万円と減額が続き、H32年度からは、11億円の減額となる。

③将来、歳入額に見合う歳出額としており、財源不足は生じない。将来、予算総額を100億円台か、100億円を切る縮小予算も予想される。

④13地域の活動を支援

⑤13地域の活動を支援

⑥13地域の活動を支援

⑦13地域の活動を支援

⑧13地域の活動を支援

⑨13地域の活動を支援

⑩13地域の活動を支援

元気な人紹介

農業後継者の育成に力を注ぐ！

こめ奉行 代表取締役

世羅町下津田 立石 和子さん

現在、農村は高齢化に伴い後継者が減少しているが、これからは一経営体となり、農家から企業へ転換し流通に係わるべきとの先代社長の言葉。その意志を引き継いでこられた、立石さんにお話を聞きました。

田舎には今仕事がなく、止む無く都会に出ていっても、ある程度年を取ると田舎の良さにひかれます。趣味や人とのふれあい、心のやすらぎなどは都会では得られないものがある。田舎で農業を頑張れば生活が出来る。そんな魅力を作りたいたのことです。

こめ奉行では、若い人と一緒に農業をしています。農業を守るのは、地域を守ることに繋がっていると思います。

しかし、ここまで来るのも平坦ではなかった。ある時、友人が「スーパーで買っている米は美味しくない」と言われ、世羅のお米を分けてあげたら「とても美味しい」と言って、友人の働いているレストランを紹介された。店長から「美味し



いから分けて欲しい」と言ってもらいとても嬉しかった。

このことがきっかけで、量販を試みたが、5kgの袋詰めが一個か二個の注文しかなく、新たな顧客を開拓するも「余った米を売るのだろ」と殆ど断られ我慢の時期が続いた。

ある年の新米を、刈り取りから3日後、スーパー「新米特売」コーナーに出品した。すると多くのお客さんから「美味しい」「新湯のコシヒカリに負けない」の評価を得た。以後、徐々に販売が伸びた。ここまで来るのは大変だったが、我慢した甲斐があったからと話された。

今まで補助金は受けなかったが、年度当初、従業員にボーナスを出す約束、それを叶えるため、所得補償を申請した。これまでも振り返ると、地域の人々に支えてもらった御陰です。これからも、農業は決して楽ではないが、農業に夢を持ちつづけ、コツコツと努力し、農業を通じて地域に貢献したいと話されました。



表紙紹介



「服部杯ふれあいマラソン大会」が12月5日に開催されました。この大会には、小学生の部2kmに約150人、一般の部3kmに中学生と一般男子20人余りが参加されました。

服部杯は、地元下津田の名誉町民の服部孝宏さん（故人）の体育振興と子どもたちに夢と希望を与えた功績をたたえて開催されています。

元気に躍動して走る子どもたちを紹介します。

編集後記

9月定例会以後の議会構成が変わり、広報公聴調査特別委員会の委員構成も変わりました。

国際情勢、政治情勢、人間関係が激しく変化

する今日、議会活動も活発化しなければなら

ないと考えます。

特に、議会活動の状況

前回の訂正

No.23号元気な人紹介中、末広院長は、「平成14年4月に赴任され」は「平成10年4月に赴任され」の誤りでした。訂正しお詫びいたします。

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は3月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報公聴
調査特別委員会

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
委員／西田美喜男・安佐 長秀
福田 豪・仙光 保喜

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。
年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。